

CEに最も身近な在宅医療 ～CEが腹膜透析業務へ**参入**する方法～



CEによる腹膜透析業務への関与率は20%程度に留まっています。国が在宅医療を推進するなかでCEにとって最も身近な在宅医療となり得る腹膜透析業務へどのように関わったらよいのか。本セッションは他職種を交えて腹膜透析業務にCEが必要な理由を追求していきます。